

2050年ゼロカーボンシティを実現するためには、大企業のみならず中小企業も含め、あらゆる企業が脱炭素化に取り組んでいくことが必要です。



建物・設備・エネルギー

「自社建物」



- 空調の適温運転、クールビズ・ウォームビズ等、日常的に省エネルギーに取り組む
- 照明をLED化する
- 省エネルギー型の機器を導入する
- 再エネ電気プランに契約を切り替える

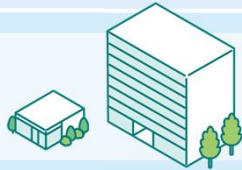
- 省エネルギー診断を受診する
- 高効率空調機を導入する
- 自社建物の高断熱化(★)を図る
- 太陽光発電システム及び蓄電システム(★)、太陽熱利用システム、燃料電池など、脱炭素エネルギーを導入する
- BEMS(エネルギー管理機器)を導入する

★印：中野区が設置費の一部を補助している機器(詳しくは裏表紙をご覧ください)

- 自社を建て替える際にZEBにする



「テナント」



- 環境性能の高い物件を選択する



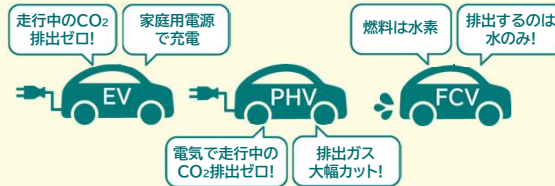
- ZEBの物件を選択する

自動車利用

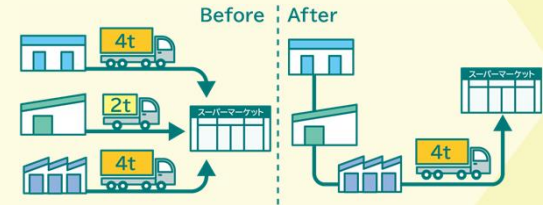
- 自動車を使用する際は、エコドライブを実践する
- 日常の移動は、できるだけ徒歩、自転車、公共交通を利用する
- テレワークを推奨し通勤の移動を減らす



- 社有車、リース車をZEVにする
- 自動車の運行ルート工夫し、走行距離を減らす



- 共同配送の実施など、輸配送の効率化を進める



事業活動全般

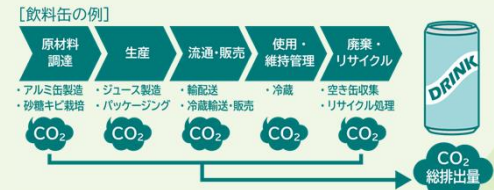
- 従業員の環境意識向上に努める
- 毎月の電気、ガス、水道の使用状況、光熱費を見える化する
- 使い捨てプラスチック製品・包装類の使用を抑制するなど、廃棄物削減の取組を進める



- 環境マネジメントシステムを運用する
- 自社のエネルギー使用量、二酸化炭素排出量等の情報を開示し、削減に向けた取組を進める



- エネルギー使用量、二酸化炭素排出量削減に関する取引先の取組を把握し、製品の製造から廃棄に至る過程の二酸化炭素排出量の削減を進める



2050年ゼロカーボンシティ実現

脱炭素に取り組むメリット

脱炭素の取組は、大企業だけの課題ではありません。原材料の製造や輸送といった上流から製品の使用・廃棄等の下流に至る流れ全体の二酸化炭素排出削減を進める動きが広がっており、中小企業においても脱炭素に取り組むことは重要な課題となっています。

事業活動に脱炭素の視点を取り込むことには、一般に次の5つのメリットがあるといわれています。

- 1**
他社より早く取り組むことによる優位性の構築
- 2**
光熱費・燃料費の低減
- 3**
知名度・認知度の向上
- 4**
社員のモチベーション・人材獲得力向上
- 5**
好条件での資金調達

(参考文献)環境省「脱炭素ポータル」

中野区では、省エネ・脱炭素化に取り組む事業者を支援しています

省エネルギー設備の設置補助事業

法人事業者(中小企業に該当する会社もしくはその他の法人)、個人事業主を対象に、太陽光発電、蓄電システムの導入、断熱改修(窓・ドア等)の費用の一部を補助しています。

経営・創業相談

経営・創業相談時に東京都が実施している助成事業など支援制度の情報提供と経営改善に係る相談を受け付けます。

詳しくは、中野区ホームページをご覧ください。

めざそう！ 2030年度二酸化炭素 46%削減（2013年度比）

中野区では、「2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ」をめざし、区内の二酸化炭素排出量を2013年度比で46%削減することを目標にしています。

